

第3章	ロシアの農業	学習日 月 日	名前
-----	--------	------------	----

教科書 P～ 要点ノート P52～

1. ロシアと周辺諸国

ソ連時代 … 社会主義国、農業の集団化 = ソフホーズとコルホーズ → 生産意欲の低下

ソ連崩壊後 … 農業企業や個人経営

【ロシアの主要な農業地帯】

ウラル山脈以西 = ヨーロッパ・ロシア

植生は北から タイガ → 温帯林 → プレーリー(長草草原) → ステップ(短草平原)

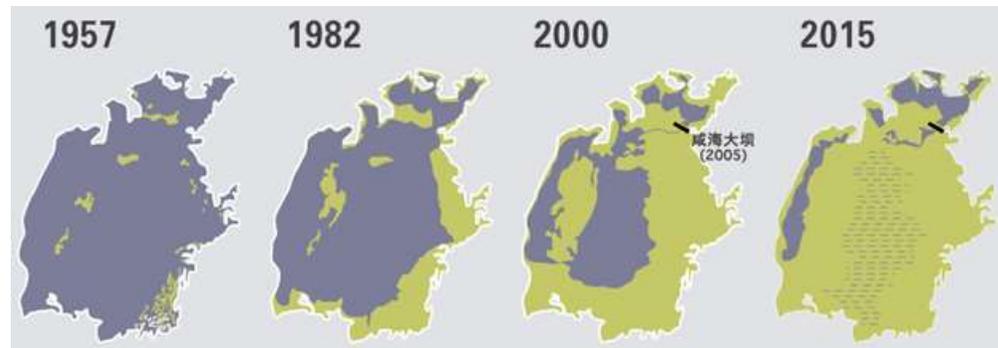
タイガの南側には混合農業地帯もみられる

ウクライナ … (1) = 黒土の分布、(2)の栽培

ベラルーシ … (3)、ジャガイモ = 主食となる

ウズベキスタン … 羊、(4)

※ アムダリア川・シムダリア川流域で灌漑を行い、アラル海が縮小



カザフスタン … 羊・春小麦

バルト海沿岸 … 酪農

ウラル山脈以東 = (5)は未発達地帯。南側では春小麦地帯、春小麦地帯の北側で混合農業がみられる。その他は広く森林におおわれていて農業は行われない。

鉄道に沿って林業が行われているが、植林を行わない略奪的なもの。主な産業としては鉱業になってしまう。

ロシアの北方、北極海に面する地方は(6)の放牧がおこなわれている。

大麦・エン麦 … 飼料となる、大麦は特に低温や乾燥に強い



1919年 ロシア革命 → ソ連(ソビエト社会主義共和国連邦)成立

1993年 ソビエト崩壊

ソビエト連邦は15の国に分裂

そのうち、12か国がCIS(独立国家共同体を構成している)

その他の3か国はエストニア・ラトビア・リトアニア = バルト三国

ソビエト崩壊後、ロシア経済は混乱 → ルーブル安

このルーブル安によって、輸出が有利になる = 穀物や畜産物の輸出増、企業的大農業の増加